

(特別養護老人ホームで介護士として勤務)



Q1. 現在働いている業種・業界に興味を持った理由は？

幼い頃からおじいさんやおばあさんが周りにいる環境で育ってきたことと、8歳の頃、自分自身が病院に入院したことをきっかけに介護や福祉という仕事に興味を持ち始め、中学生の頃には将来なりたい職業の一つとして考えていました。

学生時代、障がい者教育を少し学んだことはありましたが、入社するまでは介護・福祉について、専門的な知識や経験はありませんでした。現在、日常の業務を行いながら社会福祉士の国家資格取得をめざして勉強をしています。

Q2. 現在従事している仕事内容は？

施設に入居している方の生活動作の支援を行うことが主な業務です。チームを組んで24時間体制で介護を行うため、通常の日勤だけでなく、早番や夜勤などもあり勤務時間は不規則です。

生活動作の支援と聞くと、相当な体力が必要と思われるかもしれませんが、最新の理学療法や介護器具を活用したり、チームで協力して行ったりしていることなどから、職員一人ひとりへの身体的負担は軽減されています。

Q3. 現在の仕事の魅力、やりがいは？

入居者からの「ありがとう」という感謝の言葉をかけていただけることや、これまで長い人生を歩んでこられた方と、たくさんお話しするなどのコミュニケーションを取ることができるのがこの仕事の魅力だと思います。

Q4. 職場の雰囲気、働く環境は？

私の働く介護施設では、「ユニットケア」と呼ばれる10人程度の入居者に対して数人の職員がチームを組んで介護にあたる体制をとっています。日常的に同じ人と顔を合わせ、入居者も職員も家族のように温かく接しあい、自宅にいるような安心して過ごせる雰囲気を作っています。

Q5. 仕事で求められる力や、身に付けておいて欲しいことは？

入居者の中には、認知症の方もいて、場合によっては理不尽な言葉を投げかけられることもありますし、排泄介助など、衛生面には注意を払いながらも、決してきれいとは言えない支援もあります。そのため、入居者の行動を受け入れる包容力や忍耐力、そして何よりもチームで連携して支援するためのコミュニケーション能力は必要だと感じます。また、自分自身が健康であることも勤務するうえでは大切なことは言うまでもありません。

私自身、未経験の状態からの入社1年目で、これから資格取得をめざしているということもあり、特に特別な知識や技能を身に付けておく必要はないと思います。ただ、社会人となり、働きながら資格の勉強をするのはとても大変なことなので、学生のうちに取れる資格は取っておいた方がいいのは間違いありません。

Q6. これから進路を考える高校生に向けて、業界のPRや就職に関するアドバイスを！

介護・福祉の仕事はこれからの日本においてますます必要になってくると思います。しかし、介護士の人数は少なく、人手不足です。知らない人からすると、この仕事は「しんどそう」、「大変だ」と思われるかもしれませんが、それはどんな職業でも同じことだと思います。

介護・福祉の仕事は人と人とのつながりを感じることができ、直接目の前にいるサービスを受けられた人からの感謝の言葉を聞くことができるのが最大のやりがいです。

これから進路を考える皆さんには、自分の目標や、やりたい事に対して一途に突き進んでもらいたいと思います。私も幼い頃から興味があったこの業界で仕事できて、毎日が充実し、とても楽しく過ごせています。